



今津小学校閉校式



3月の閉校式は、新型コロナウイルス感染防止のため延期しましたが、**11月1日(日)**、関係者の御協力により、規模を縮小して開催することができました。

輝かしい歴史と伝統を築いてきた多くの卒業生、保護者や地域の方々、学校関係者への感謝の思いを込めて、当日の様子をお届けします。

市長式辞

福山市 枝廣 直幹 市長



本校は、146年間、歴代校長、教職員、地域の方々の並々な御尽力により、輝かしい歴史と伝統を築いてきました。卒業生の皆様は、友と過ごした学校生活を、関係者、地域の皆様は、子どもの成長とともに歩んだ歴史を、懐かしく思い起こしておられることと思います。

今津地域・高西地域は、自主・自立、協働のまちづくりを進めておられます。今津小学校では、地域の方々の御協力のもと、ホタルの飼育、幼虫の放流などホタル学習に取り組むとともに、地域の環境を良くするための活動を主体的に考え行動する環境学習を進めてきました。この環境学習は、遺芳丘小学校に引き継がれ、今、子どもたちは、新しい友だちとともに、地域の自然や環境について学びを深めています。

今津小学校は歴史の幕を閉じることになりますが、児童生徒の皆さん、今津小学校の輝かしい歴史と伝統、人々の思いを未来へと引き継いでいってください。私たち大人も、子どもたちが笑顔で過ごせる社会、みんなが生き生きと暮らしていくことができる社会の実現に全力で取り組んでまいります。

来賓代表あいさつ

今津自治会連合会 島村 莞爾 会長



学校再編を振り返りますと、2015年から説明会、アンケート、意見交換会等が実施され、2018年には開校準備委員会が設置されました。以後10回にわたり細部の検討をしてまいりました。校名、校歌、校章、制服、卒業記念碑等をどのようにするか協議を続け、当初

の計画どおり、2020年度に遺芳丘小学校の開校を迎えることができました。市教育委員会の皆様をはじめ、地域の皆様や学校関係者の御協力に感謝いたします。

当初3月29日に、閉校式を計画しておりましたが、コロナウイルス感染症の影響で延期となりました。本日、規模を縮小してではありますが、閉校式を無事実施できますことを嬉しく思っております。

これまで、今津小学校に関わってこられた先生方、多くの卒業生、児童全員を交えての閉校式ができなかったことは残念ではありますが、地域の小学校の歴史の中で、ひとつのバトンタッチができたことを嬉しく思います。

新しく生まれた遺芳丘小学校が、ますます立派な学校へと成長することを祈念しております。

今津小学校 児童代表 鈴木 宏宣さん



僕は、この今津小学校が大好きです。なぜなら、信頼できる友達と一緒に学んだり遊んだりした場所だからです。1年生の頃は長い坂道を登校するのが大変でしたが、教室から見える景色はとてもきれいで、さらに今津小学校が好きになりました。4年生では、地域の環境について学習し、地域の方によって本郷川がきれいに保たれている事を知り、今津の町も好きになりました。

今津小学校が遺芳丘小学校になるという実感が湧いたのは、新しい校歌の彫刻を皆で彫っている時でした。この彫刻が100年、200年と残って欲しいと願いながら一文字一文字丁寧に彫りました。遺芳丘小学校の校歌はとても素敵な歌です。これからも歌い継がれてほしいです。

今津小学校には、幸せな行動をするという素晴らしい伝統があります。「幸動」とは、自分も周りの人も幸せになる行動をすることです。1年生が怪我をしていたら、保健室に連れていくこと。みんなが気持ちよく過ごせるよう、朝掃除をすること。6年生を中心に幸動し、今津小学校を良い学校にすることができました。遺芳丘小学校の校訓は「協働・創造・幸動」です。遺芳丘小学校にも今津小学校の伝統である「幸動」が引き継がれていくと思います。

今津小学校最後の卒業生として、遺芳丘小学校が、東村小学校と今津小学校の良いところを引き継ぎながら新しい伝統を育み、100年、200年と続く素晴らしい学校になることを願っています。

子どもたちの歌声が体育館を包みました。

今津小学校の校旗が橋本校長から三好教育長へ返還されました。

校歌斉唱

校旗返納



校長あいさつ

今津小学校 橋本 秀基 校長



学校

今津小学校は、本郷川、藤井川の流れのごとく、たくさんの地域の方に愛され、多くの卒業生を広い世界に巣立たせてきました。その数は、記録の残る明治18年以降、11,368人にのぼります。その中には、福山市名誉市民の平櫛田中先生もおられます。「今やらねばいつできる。わしがやらねば、だれがやる。」この言葉は、生涯学び続けた先生の信条であり、その心は代々の今津小学校在校生や地域の方々の胸に刻まれ続けてきました。

今津小学校では、地域の方の支えをいただきながら、環境学習に力を入れてきました。「地域の川をホテルが飛び舞う川にする」を合言葉に、

ホテル学習を中心とした取組を継続し、2012年には環境美化教育優良校の最優秀校として文部科学大臣賞をいただきました。地域とともに自ら学び続ける姿勢はその後も大切にされ、2019年度には、広島県教育委員会から教育奨励賞という素晴らしい賞もいただくことができました。

学校職員が子どもたちとともに学びづくりに専念できたのは、皆様の支えがあったからだ、改めて感謝申しあげます。今津小学校を大切にしてくられた地域の皆様におかれましては、本校の名前がなくなることを寂しく思われていることと思います。しかし、皆様がつくりあげてこられた伝統や「自ら学び続け、そして学んだことを活かして多くの人を幸せにする行動に努める。」という校風は、遺芳丘小学校において継承していくこととお約束いたします。児童生徒の皆さんも、今津小学校での学び、思い出を誇りとしてこれからも学び続けてください。

これまで今津小学校を見守り、支えていただきました地域の皆様、閉校、新たな学校の開校に向け御尽力いただきました準備委員会の皆様をはじめとする全ての関係者の皆様に心より感謝を申しあげます。

閉校記念事業実行委員会 島村 莞爾 委員長

今津小学校は1874年、今から146年前に創立された公立児童教育所が出発校となり、それ以降、校名変更等を経て成長を続けてきました。

過去の校名の中で私のお気に入りには、2番目の「徳隣校」です。中国の論語「徳は孤ならず、必ず隣あり」からきているものと思われま。徳を大切にすると、人間として成長を続け、尊敬され、人が集まってくるといことです。この精神は、今津小学校から遺芳丘小学校へ変わっても通ずることだと思っています。



児童合唱：オープニング



児童発表：歴史クイズ



3世代記念スピーチ：各世代が思い出を語る



メモリアル記念映像：小学校の歴史を鑑賞



全員合唱：校歌を合唱

閉校記念事業実行委員会 小林 秀樹 様 (寺岡和泉副委員長代理)

学校と地域をつなぐ役割は子どもたちにあります。親や先生だけでなく、地域で子どもを見守ることはこれからも大事にしていかなければなりません。小学校が変わっても、子どもたちの帰る地域は一緒です。児童の皆さんには、これからも地域とのつながりを大事にいただければと思います。



閉校記念式典

遺芳丘小学校及び今津交流館、高西公民館で、閉校式及び閉校記念事業の映像を収録したDVDを貸し出します。

輝かしい学校の歩みを振り返り、未来へと引き継いでいく、心温まる閉校式になりました。心から感謝申しあげます。これからも、遺芳丘小学校を応援していただきますよう、お願いいたします。

福山市教育委員会事務局 管理部 学校再編推進室
電話：084-928-1279 / FAX：084-928-1737
E-mail：gakkou-saihen@city.fukuyama.hiroshima.jp

開催の詳細はHPに掲載しています。



編集後記